

煌け! 登美北

平成28年3月15日(火)
奈良市立登美ヶ丘北中学校
生徒指導だより
文責:三間瀬 充宏

3年生を送る会、そして卒業式

南門から校舎までの植え込みに埋めてあるチューリップの球根から芽が出ました。つい最近までそんな様子はひとつも感じられなかったのに、季節の進みを教えるかのように土の中から姿をみせてくれました。もうすぐ色とりどりの花を咲かせてくれるでしょう。季節に合わせて花が咲く、何の変哲もないことですが、咲く花を見ると「ほっ」と安心してしまいます。学校の行事にもそんなところがあるのではないのでしょうか。11日(金)に「3年生を送る会」が行われました。1・2年生が歌を送り、先生劇があり、3年生が歌で応え、3年間の思い出をスライドショーで振り返る。毎年繰り返されることですが、みんなの気持ちが卒業式に向かって一つになっていきます。今年もきっといい卒業式になるでしょう。

卒業式のことを英語で「Commencement (コメンズメント)」ということがあります。この「Commencement」という言葉には始まりや開始という意味があります。中学校を卒業し、新しい道に向かって旅立ちをする3年生のみなさんが、夢と自信、そして感謝の気持ちをもって、力強く歩いていってくれること願っています。また、残る1・2年生のみなさんには、最高学年、中堅学年に向かって、服装・遅刻・忘れ物・授業中の態度など、基本的な学校生活をもう一度振り返り、良い形で新学年が迎えられるように頑張ってもらいたいと思います。

東日本大震災から5年

「3年生を送る会」が行われた11日は東日本大震災から起こってからちょうど5年目の日でした。テレビや新聞で特集が組まれたりしましたからみなさんも知っていますね。今でもみなさんと同じ年齢のなかまを含む多くの方が震災からの復興に精一杯取り組んでいます。生徒会ではそんな方のために募金活動に取り組んでくれました。

5年前、被災地でも卒業式を目前に控えた多くの中学3年生がいました。それが、突然襲った津波のために家族やなかま、多くのものを失い、卒業式も延期されてしまいました。そんな中でも、震災を乗り越えていこうとする思いを「答辞」に込めたなかまがいました。一部分を紹介したいと思います。

<気仙沼市立階上中学校卒業式答辞>より

「階上中学校といえば防災教育」と言われ、内外から高く評価され、十分な訓練もしていたわたくしたちでした。

しかし、自然の猛威の前には人間の力はあまりに無力で、わたくしたちから大切なものを容赦なく奪っていきました。

天が与えた試練というにはむご過ぎるものでした。

辛くて、悔しくて、たまりません。

しかし、苦境にあっても天を恨まず、運命に耐え、助け合って生きていくことが、これからのわたくしたちの使命です。

階上中学校卒業生代表 梶原裕太

「あたりまえ」に思える日々や友達がいかに貴重なものを一度考えてみてください。

